



平成28年度 第68回入学式

4月7日(木)に、多くのご来賓の皆様や保護者の皆様にご臨席いただき、第68回入学式を挙行了しました。141名の新入生が、桜が満開の中、新しい制服に身を通し校門をくぐりました。新入生の表情は、期待と不安が交錯しているように見えました。式は、厳粛な雰囲気の中で進みました。

式辞で、新入生に四つのことをお願いしました。まず、「出会いを大切にほしい」ということです。御室・宇多野・花園の三つの小学校を中心に入学してきた皆さんは、今日から双ヶ丘中学校の生徒です。新しい友達との出会いを大切に、相手への思いやりの気持ちを忘れず、学校生活を充実させてください。次に「継続は力なり」ということです。毎日の少しずつそしてコツコツとした努力が成功の鍵です。努力を続けることは楽なことではありませんが、忍耐強く努力を続けてください。三つ目は「好きこそものの上手なれ」ということです。人間は、自分が好きなことには時間をかけて、また工夫をして取り組めるものです。皆さんも自分が好きなものを何か見つけてください。学習や部活動、その他のことでもいいのです。自分自身が熱中できるものを見つけてください。そのことが楽しく学校生活を送ることにつながります。最後は、「あいさつをしっかりとる・時間を守る・人の話をしっかりと聴く」ことです。あいさつは、気持ちよく毎日の生活を過ごすための潤滑油になります。「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」などのあいさつをしっかりとってください。時間を守ることも大切です。時間は、誰にでも平等に与えられています。どのように使おうと自由です。時間を守ることが時間を大切にすることにつながっていきます。そして、人の話をしっかりと聴くことも実行してください。話をしている人にしっかりと目を向けて聴いてください。話をしている人からすれば、しっかりと聴いてもらえるのはうれしいことです。しっかりと聴くことは、話をしている人への思いやりにもなるのです。

新入生の保護者の皆様、お子達のご入学、誠におめでとうございます。教職員一同心からお慶び申し上げます。本日から、皆様のお子達をお預かりいたします。微力な私たちではございますが、全職員が一致団結して一人一人の生徒を大切に教え育てまいります。中学生時代は、心と身体の変化の激しい時期であります。どうぞ、ご家庭におかれましては、親子の語り合い、団らんを通して「自立と思いやりの心」を育てるための助言と気配りをお願いいたします。

就学援助制度について

京都市では、お子達が市立小・中学校へ通学するにあたり、経済的な理由により、お困りの保護者に対して、学用品費や給食費などを援助する就学援助制度を設けています。

申し込みの手続きやご相談・ご質問がある方は、学校までお申し出ください。



本校では、生徒たちが活躍している様子やお名前などを学校だよりや学年だよりで掲載する予定です。また、随時ホームページでも紹介していこうと考えています。保護者の皆様のご理解をお願い申し上げます。